

平成26年1月 短期市場概況

上田八木短資株式会社
TEL 03-3270-1711(代)

(概況及びインターバンク市場)

1月の日銀当座預金残高は、月初109兆円台から始まり、国債発行等の影響により月末には105兆円台まで減少した。月末から月末にかけて、国債発行が続いた一方、日銀による国債・国庫短期証券買入オペ等の潤沢な資金供給等もあり、105～109兆円台で推移、110兆円台で越月した。無担保コールオーバーナイト物加重平均金利は、29日に一部市場参加者による試し取りの動きから0.09%を上回ったが、概ね0.07%台前半で推移した。ターム物は1W～1M物0.117～0.118%の取引が中心となった。

政府は17日の月例経済報告で、景気判断を「緩やかに回復しつつある」から「緩やかに回復している」と4カ月ぶりに上方修正した。日銀は、金融政策決定会合(21～22日)で金融市場調節方針の現状維持を全員一致で決定、景気の先行き判断を「わが国の景気は、緩やかな回復を続けており、このところ消費税率引き上げ前の駆け込み需要もみられている。」とした。また、「経済・物価情勢の展望(展望レポート)」の中間評価を行い、コアCPIの政策委員見通し(中央値)を、2013年度前年比0.7%上昇、14年度1.3%上昇、15年度1.9%上昇といずれも据え置き、「成長率、消費者物価ともに、概ね見通しに沿って推移すると見込まれる」との見方を示した。

(CP市場)

1月のCP(短期社債)月末残高は、16兆177億円と前月比9,922億円の大増加となり、昨年2月以降11ヶ月ぶりに16兆円台となった。一般事業法人が1兆4千億円を超える大増加となり、特に12月末に残高調整を行なった電気機器・鉄鋼メーカーの大増発行増が際立っていた。一般事業法人以外では、金融機関発行分で前月比0.11%、その他金融で同3.79%、ABCPで同12.42%とそれぞれ減少となった。発行レートは、発行量の多い銘柄のレート上昇やオペレート上昇に影響され、一般銘柄でもやや強含みの地合いとなった。また、投資家ニーズの低いショートターム物や3月末償還物も強含みとなった。期越物については、投資家ニーズ強くほぼ横這い推移であった。最上位銘柄では、0.07%台半ば～0.10%近辺の出合い。一般事業種人では、各ターム共に0.088%～0.120%台後半のワイドレンジでの出合いであった。
【新発3M物の発行レート】
最上位銘柄(a-1格)0.088～0.100% 一般事業法人(a-1格)0.089～0.110%
その他金融銘柄(a-1格)0.009～0.120%

CP買入オペは、1月は10日・21日・28日と3回実行された。各回、4000億円にてオファーされた。12月末から今月にかけての発行増が影響したためか、ディーラーが積極的に応札する動きとなり、各回ともに応札が9000億円を上回った。その結果、按分・平均落札レート共に徐々に強含み推移となった。28日のオペでは、3ヶ月ぶりに平均落札レートが0.09%を上回る結果となった。証券保管振替機構によると、1月末時点における発行登録企業数はプレスター・アセット・ファンディング・コーポレーションが新規登録を行なったため、496社となった。また、通算の発行企業数は日本製紙・SMCが新規発行を行い、533社となった。

(有担保コール市場) (億円)

市場月中平均残高	平成26年1月	(前月比)	(前年同月比)
コール全国	113,268	△ 3,707	△ 25,852

(無担保コール市場) (億円)

月中業態別平均残高			業態	取手		
(前年同月比)	(前月比)	平残		平残	(前月比)	(前年同月比)
△ 590	△ 367	784	都銀等	29,465	4,968	△ 453
6,982	1,635	17,181	地 銀	4,577	△ 824	1,961
1	926	3,350	信 託	5,990	53	1,101
6,070	△ 764	13,170	投 信	0	0	0
△ 534	△ 126	348	外 銀	5,012	△ 287	2,811
1,541	△ 65	4,068	第二地銀	2	△ 8	△ 2
3	1,430	6,774	信 金	0	0	0
△ 378	200	5,288	農林系	547	△ 81	547
△ 146	△ 7	13	証券・証金	15,931	1,180	2,529
2,440	1,517	5,117	生損保	0	0	0
△ 6,851	686	7,256	その他	1,825	64	44
8,538	5,065	63,349	合計	63,349	5,065	8,538

(債券レポ市場)

1月の足許GCIは前月末からの流れを受け月初0.05～0.06%近辺で推移していたが、中旬以降には期末要因が剥落したことや発行要因もあり0.10%近辺まで上昇。以降、月末にかけては日銀による国庫短期証券買入オペ等の影響もあり、再び0.06%近辺まで低下した。

SCでは引き続き各年限カレント近辺の銘柄にビッドが多く、2年335回債についてはON物で0.00～△0.03%近辺と月を通してタイトな出合いが続いた。5年116回債は月初ON物で0.00%近辺で推移した後タイト化し、一時ON物で△0.30%以下の水準の出合いも見られたが、リ・オープン後には概ね0.05～0.07%近辺で推移した。10年債332回債はリ・オープン後もニーズは強く、2/6エンドのターム物では△0.05～△0.10%近辺と強めの出合いが続いた。

(TDB市場)

1月の日銀による国庫短期証券買入額はオファー日ベースで11兆5000億円となり、昨年12月の4兆円から大幅に増加した。買入により需給が好転したことから徐々にレートが低下する展開となり、3ヵ月物の利回りは月初の0.06%程度から月末付近には一時0.05%程度まで低下した。日銀の大量買入れに伴い現先市場での資金調達ニーズは乏しく、オペ後には現先レートが0.05%を下回る水準まで低下する場面が見られた。

(億円)

資金需給実績		
	1月中	前年同月中
銀行券要因	43,618	40,133
財政等要因	△ 190,429	△ 118,661
一般財政	△ 28,529	△ 12,335
国債(1年超)	△ 95,821	△ 86,013
発行	△ 120,597	△ 107,144
償還	24,776	21,131
国庫短期証券	△ 71,826	△ 18,968
発行	△ 313,233	△ 314,500
償還	241,407	295,532
外為	2,633	△ 4,844
その他	3,114	3,499
資金過不足	不 146,811	不 78,528
準備預金増減	30,403	△ 37,312
金融調節(除く貸出支援基金)	180,906	—
国債買入	70,973	34,274
国庫短期証券買入	115,021	45,019
国庫短期証券売却	0	0
国債買現先	0	0
国債売現先	0	0
共通担保資金供給(本店)	0	0
うち固定金利方式	0	0
共通担保資金供給(全店)	△ 7,302	△ 36,291
うち固定金利方式	△ 7,302	△ 36,291
CP買現先	0	0
手形売出	0	0
CP等買入	963	△ 308
社債等買入	△ 289	579
ETF買入	1,506	227
J-REIT買入	19	17

(出所：日本銀行HPより)

(億円)

金融調節		
	1月中	前年同月中
被災地金融機関支援資金供給	1	△ 65
貸出	14	0
国債補充供給	0	3
金融調節(貸出支援基金)	0	0
成長基盤強化支援資金供給	0	0
貸出増加支援資金供給	0	—

(億円)

日銀主要勘定(月末残高)		
	1月末	前年同月
銀行券	857,813	826,399
国庫短期証券買入	283,794	116,590
国庫短期証券売却	0	0
国債買現先	0	0
国債売現先	0	0
共通担保資金供給(本店)	0	0
うち固定金利方式	0	0
共通担保資金供給(全店)	173,721	232,663
うち固定金利方式	173,721	232,663
CP買現先	0	0
手形売出	0	0
CP等買入	22,904	20,218
社債等買入	31,937	29,874
ETF買入	26,479	14,915
J-REIT買入	1,421	1,125
被災地金融機関支援資金供給	3,805	4,362
貸出	31	0
国債補充供給	0	0
貸出支援基金	84,347	33,469
成長基盤強化支援資金供給	33,504	33,469
貸出増加支援資金供給	50,843	—
米ドル資金供給(百万米ドル)	0	0
成長基盤強化支援資金供給(百万米ドル)	7,369	2,257

-
- ・本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。
 - ・有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性についても保証するものではありません。
 - ・記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。

上田八木短資株式会社

登録金融機関 近畿財務局長(登金)第 243号

大阪本社 〒 541-0043 大阪府中央区高麗橋 2丁目 4番 2号

東京本社 〒 103-0022 東京都中央区日本橋室町 1丁目 2番 3号

加入協会 日本証券業協会